



公益財団法人 日本オリンピック委員会

— JOCの環境基本理念・行動指針 —
<https://www.joc.or.jp/eco/hoshin.html>



来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン

KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
公益財団法人 日本オリンピック委員会





なぜアスリートが環境のことを率先して考えなければならないのだろう(冬季)



沢田 敦 (さわだ あつし)

スキー／アルペンスキー 第13回オリンピック冬季競技大会(1980／レークプラシッド)

地球温暖化の影響による降雪量の減少で、以前は5月まで滑ることができたスキー場が、今は4月上旬には雪が融けてしまいます。お米や果物の生産地域が日本の北部に移ってきているとも聞いています。今から昔の生活に戻すことは大変難しいことではありますが、未来に向けてできることは、「人々や地球にとって」大切なこと、必要なことを深く考え、行動することではないでしょうか。

事例 長野県長野市飯綱高原スキー場



1998年長野オリンピック：
モーグル・エアリアル競技会場

Photo by AFLO SPORT



▶
22年後

2020年2月16日
営業終了

解説：長野オリンピックスキーモーグル会場で、里谷選手が金メダルを獲得したスキー場も、毎年の雪不足が続き閉鎖になっています。このまま積雪の減少が続くと、2050年頃までにスキー場の年間稼働日数が現在より3分の1まで減少し、2080年を過ぎると6分の1まで減ってしまうとの調査も出ています。未来に雪山を残すため、最初の一步として日々の生活を見直してみましょう。照明のこまめなON・OFF等、私たち一人一人の意識や行動で地球温暖化を止めなければなりません。



なぜアスリートが環境のことを率先して考えなければならないのだろう(夏季)



気候変動に負けない元気な体づくりや体調管理と
未来のための温暖化防止が必要だね。

北澤 豪 (きたざわ つよし)

サッカー 日本サッカー協会理事、元日本代表

日本の 気候変動

日本の平均気温は100年あたり約1.24℃上昇しました。

また、異常気象の発生も増え続けています。

※異常気象とは過去30年の気候に対して著しい偏りを示した天候のことです。

●最高気温35℃以上
(猛暑日)の年間日数



約0.8日
(1910~1939年
の平均)



約2.3日
(1990~2019年
の平均)

80年間で...2.9倍の増加

●1日の雨量が400ミリ
以上の年間日数



約6日
(1976~1985年
の平均)



約16日
(2010~2019年
の平均)

34年間で...2.7倍の増加

解説: サッカー競技の事例を挙げると、気温の上昇に伴い、JFA 全日本U-12サッカー選手権大会は2015年より開催地を鹿児島県に、時期を12月に変更しました。更に夏季開催の研修会、全国自治体職員サッカー選手権大会など、競技開催時期やキックオフ時間の変更・短縮を検討しています。

「平成30年7月豪雨」により、ビーチサッカー国際親善試合(日本対イングランド)や天皇杯 JFA 第98回全日本サッカー選手権大会 3回戦サンフレッチェ広島 vs名古屋グランパスが中止になりました。

スポーツ関係者が実践できる環境活動について



アスリートがスポーツの力でできる環境活動ってなんだろう？

上田 藍 (うへだ あい) トライアスロン

第29回オリンピック競技大会(2008/北京)

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)

第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)



スポーツ界における環境保全の必要性や、どのように実践に移していくかを一緒に考えよう。

宮下 純一 (みやした じゅんいち)

水泳/競泳

第29回オリンピック競技大会(2008/北京)

大会の開催を通じた環境活動への参加・呼びかけ

世界トライアスロンシリーズ横浜大会では、自然環境にやさしいトライアスロン大会をめざして、Green Triathlon(グリーントライアスロン)を実施しています。山下公園内の清掃やスイム会場の海底清掃など、関係機関・団体と連携した取組みを実施しています。また、メダルは間伐材を利用した木製です。 例:世界トライアスロンシリーズ横浜大会



環境の大切さを社会に向けて伝えていく活動

たとえばJOCでは・・・

●JOCスポーツと環境・地域セミナー
アスリートやスポーツ関係者から参加者に向けて、環境啓発・保全活動について実践していること等を伝えています。



●COOL CHOICE

アスリートメッセージ映像
環境省と連携し、オリンピックからスポーツにおける環境保全の大切さを伝える映像を作成しています。

(環境省HP)



一人でも多くの人が環境の大切さを伝え、実践する事が大切です!自分達にできることを探して実践しよう!

 日本水泳連盟



アスリートも本連盟公式マスコット「ぱちゃぼ」も大活躍、水泳競技に関わる全ての皆さんと共に環境啓発・保全活動を実践しています。大会エントリーから競技結果、賞状まで全てデジタル化し、紙の使用量が導入前から半減しました。リアルタイムに携帯やタブレット・PCから確認できます。これらの紙削減の取組みはIOC「スポーツと環境賞」を受賞しました。




 日本バレーボール協会



2019年度にバレーボール会場に掲示できるよう独自にバナーを作成。主催大会会場に必ず掲示し、バレーボールを通じて観客の方々にも見ていただけるようにしました。主催大会の大会プログラムには環境啓発ポスターを掲載して環境啓発を訴えています。また、全ての会場でごみの分別を徹底しています。



 日本セーリング連盟



「残したいのはきれいな海」をスローガンにSDGsに基づいた環境にやさしいレース運営を行っています。またイベントでは海の環境の現状把握、ビーチクリーン活動、使えなくなったヨットの帆を再利用したエコバッグ作成教室等、子供から大人までを対象にしたCo2排出削減のための啓蒙活動をメインに実践しています。



 日本レスリング協会



活動が始まって15年、地球温暖化に一人一人ができることを考え、実践してもらえるよう、今日まで一貫して行ってきたのは、大会会場内のポスター掲示と館内放送での呼びかけ。そして、公認指導員養成講習会と小学生のエリートキャンプでのスポーツと環境についての講習会です。



環境クイズ

パンフレットを読んで挑戦してみよう!

答えはWebでチェック!
<https://www.joc.or.jp/eco/quiz.html>



Q1 地球環境変化の例として、暖冬による雪の減少が挙げられます。そこで問題!過去132年の間に世界の気温は何℃上がったでしょうか?(*過去132年とは1880年~2012年)

- ① 0.85℃
- ② 3.2℃
- ③ 4.8℃



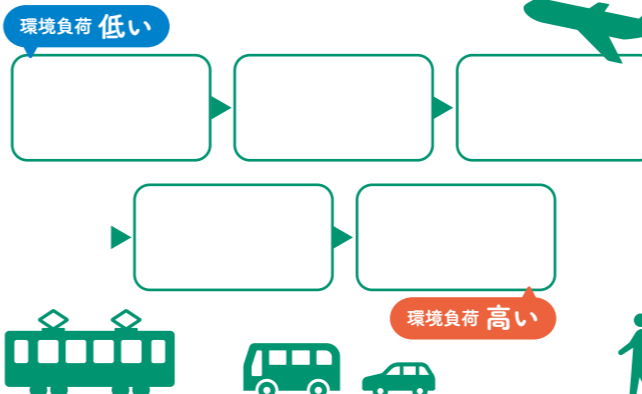
Q2 ゴミを減らすためにはどのような行動が必要でしょうか?次の中から正しいと思うものを全て選んでください。

- ① 持ち物は最後まで大切に扱う
- ② 使わなくなったスポーツ用具を寄付する
- ③ ゴミは分別して捨てる



Q3 スポーツ大会(イベント)に出かける時、なるべく環境に優しい移動手段を選ぶことが大切です。環境に優しい(環境負荷の低い)移動手段は何でしょうか?順番に並べてみよう。

電車・飛行機・バス・徒歩・自家用自動車



Q4 家庭の電気の使い方として、温暖化防止に役立つのは次のうちどれでしょうか?

- ① 電気をこまめに切る
- ② 電化製品をなるべく1カ所のコンセントにつなぐ
- ③ 一度つけた電気はなるべく切らない



Q5 スポーツ大会(イベント)では、どんな環境に優しいエコ活動が行われているか調べて書いてみよう!

Q6 なぜアスリートが環境のことを考えなければならないのだろうか?自由に考えてみよう!